

ごちそうさま

第2号

平成29年 6月 3日
宮城県農業高等学校
自啓寮
文責・吉岡
(栄養教諭)

高校生は田植えをするべき！

今年も宮農名物全校田植えが、すばらしい快晴に恵まれ行われました。全校生徒が一斉に田んぼに入る様子は考えただけでワクワクします。今年は昨年と別の場所に新たに田んぼが作られたため、小石などが多く、取り除く準備作業が大変だったと聞きました。面積は、窮屈に感じましたが昨年よりやや狭い程度ということなので9反弱？ 品種は「ササニシキ」。

昨年、宮農のササニシキを購入して味わいました。ひとめぼれを食べる機会が多かったので久しぶりでしたが、やっぱりいいですね！香りがなんとも言えず良いし、粘りが少なくさらっとして上品な味わい・・・宮城が生んだ名品種です。

田植え終了後、女子生徒の実習着の胸のあたりに泥の手跡がくっきりと・・・どとどどうということ？

今年は、金曜日実施だったので自啓寮に被害がなく、指導員の先生方にはにっこり見守っていました。(〇)

◎田んぼの広さを確認しましょう。

1反(いったん) = 300坪
= 約10a(アール)
= 1000㎡

宮農生の常識①

2015年度に1人が1年あたりに消費した米の量は54.6kg。ピークだった1962年の半以下に。農林水産省が実施した調査では、全体の約6.8%がこの1ヶ月以内に1度もお米を食べていないと回答。20代男性では、18.4%が1ヶ月間米を全く食べていないと答えたそうです。びっくり!!

◎全校生徒が一丸となり、田んぼと格闘！！



オレンジ色のつなぎと緑の苗がお似合いです。

宮農生の田植えは、見ていて頼もしさを感じます。日本はまだ大丈夫な気がしてきます。高校生は田植えをするべき。



テレビの取材にもしっかり対応！

◎宮農産のいちごを夕食に使用しました！

今年も宮農産のいちごが美味しく実りました。自啓寮の夕食に2個ずつですが使用しました。



いちごの栄養

なんととっても**ビタミンC**がたっぷりです。

種のように見えるのが、
じつは実です。

宮農生の常識②



果托(かたく)
実は二セモノの果実
そう果
つぶつぶがホントの実

すごい
美味しいよ～



いちご人間の出来上がり！



本日のメニュー
ご飯、味噌汁、豚肉の生姜
焼き、わかめのおひたし、
茶巾煮、ミカンゼリー、そ
して宮農産いちごです。

◎6月は「食べる」ことについて考えてみましょう！

6月は「食育月間」です。食べることは、生きるために欠くことのできないものであり、健康で心豊かな生活を送るためにとても大切なことです。成長期の食生活は、その後の心身の成長に大きな影響を与えます。この機会に、日頃の食事のとり方や生活習慣について見直してみましょう。



「食育」とは、「知育」「徳育」「体育」の基礎となるもので、さまざまな経験や学習を通して、生きるための必要な「食」に関する基本的な知識と、「食」を自ら選択できる力を身に付け、生涯にわたって健康的な食生活を実践できる人を育てることで。

宮農は学校全体が
食育そのものだぞー、
と私は叫びたい！

